

令和5年度 椎葉村立松尾小学校 自己評価書

(4段階評価)

4 期待以上

3 ほぼ期待どおり

2 やや期待を下回る

1 改善を要する

■ 学校経営ビジョン

「やさしい子ども かしこい子ども たくましい子ども 笑顔いっぱい松尾小」

- 1 学校生活（学習）を楽しむ・・・児童が笑顔になり、主体的・対話的で深い学びをしながら、たくましく生きていくための力を身に付けていく学校
- 2 仕事を楽しむ・・・教員が笑顔になり、切磋琢磨しながら「教師力」を向上させることができるチームとしての学校
- 3 協力を楽しんでいただく・・・学校支援態勢が確立され、家庭や地域の方々が、笑顔で惜しみなく児童の健全な育成に向け、協力してくださる安心・安全な学校

■ 学校の教育目標

「心豊かでたくましく、確かな力を備えた児童の育成」

評価項目	評価指標	具体的数値目標等	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等
				指標別	総合	
確かな学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の徹底 ○活用力の育成 ○主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ○ICTの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○「読み・書き・計算」定着率80%以上(CRT、単元テスト等) ○一人あたり毎学期平均10冊以上の読書 	<ul style="list-style-type: none"> ①個別の課題の把握と指導(学力テストの経年変化の活用) ②思考を深める学習のレベルアップ ③読書活動の推進(家族で読書・読書月間・やまびこ文庫) ④単元テスト等、到達度80%以上 ⑤活力を高める問題への取組 ⑥学力差に対応する指導力の向上 ⑦ICTの活用 ⑧学びの確認 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年においても単元テスト80%以上を達成することができた。 ・各教科等の指導においては、深い学びの視点に立った授業改善とその見取りに課題がある。 ・読書活動を推進し、毎学期一人あたり10冊以上の読書を達成できた。県立図書館より「やまびこ文庫」を届けていただき、児童も読むのを楽しみにしていた。 ・タブレットを使う学習スタイルが定着し、学力の向上に効果を上げている。また、村内の小学校とオンラインで授業を行うなどの教育活動も実施でき、ICTの活用が充実できた。
豊かな心づくりと表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○相手を思いやる心の育成 ○相手に届く表現力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめ等の解決率100% ○地域の方によるあいさつの評価80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ①評価や称賛による自己肯定感の育成 ②友達のよさに気づき、認め合う態度の育成 ③学級SSTの計画的な実施によるコミュニケーション力の向上 ④地域で認められる挨拶指導 ⑤いろいろな場における自己表現力の育成 ⑥道徳教育の充実と生徒指導の徹底 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学級SSTを月に1回実施することで、児童のコミュニケーション力は高まり、友達に対して好ましい接し方ができる児童が増えてきている。 ・「進んで、元気よく、笑顔であいさつ」をキャッチフレーズに、登下校時に地域の方々にも自信をもって挨拶できるようになってきている。 ・「4つのアウトプット」を意識させ、表現力の育成に努めた。松尾っ子発表

			⑦特別支援教育の充実 ⑧人権教育の推進			会、新聞への作文掲載など、様々な場面で称賛され、自信をつけている。
たくましい体づくり	○基礎体力の向上 ○健康・安全意識の向上	○県体カテスト目標設定システム達成率80%以上 ○早寝、早起き、朝ご飯の達成率90%以上	①感染症対策の実施 ②健康・安全教育の充実 ③体力向上プランの計画的な実践 ④児童の課題解決につながる授業の実施 ⑤性教育の計画的な実践 ⑥家庭と連携した「早寝・早起き・朝ご飯」の実施 ⑦弁当の日の実施	3 3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・県体カテスト目標達成率80%以上を達成できた。運動能力がかなり高く、今後も体力向上の取組を継続しながら、さらに目標達成率を高めていく。 ・年3回(学期1回)性教育に係る授業を行い、養護教諭もT2として授業に参加した。また、性教育に係る年間計画の見直しも行った。 ・「健康がんばり週間」を年5回実施した。その際、児童に年間目標を立てさせ、家庭で親子一緒に取り組めるようにした。 ・弁当の日を11月の遠足の時に実施した。ワークシートを使って事前に児童の興味をもたせ、実施後には写真とともにワークシートを掲示し、取組の振り返りができるようにした。
特色ある教育実践	○伝統継承、地域交流の推進 ○地域への発信	○椎葉村学も含めた地域学習の計画的な実施 ○保育園、高齢者、地域との交流活動の計画的な実施 ○学校便りを月1回地域回覧	①伝統文化学習、地域との交流学习の充実・改善 ・椎葉村学、大いちょう太鼓、敬老交流、網投げ踊り、地区合同運動会、餅つき大会、保育所との交流、スキー遠足 ②集合学習・宿泊学習・修学旅行等、他校との交流の充実 ③学校便り、web ページ等での情報発信、啓発 ④行事等情報の地域の方々への発信 ・学校便りによる情報発信 ・やまびこ通信の活用	4 4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・松尾ならではの学習活動を計画的に実施できた。スキー遠足こそできなかったものの、地域の方々に講師になっていただいたり、学習活動に参加していただいたりするなかで、交流学习を充実させることができた。 ・各学年、年間2回の集合学習やオンラインでの授業・行事により、椎葉村内外の学校との交流活動を充実させることができた。 ・児童の学校生活や行事などについて、新聞への投稿やWeb ページの定期的な更新により情報発信できた。 ・月1回学校便りを作成し、地域の方々に学校の教育活動についての情報発信を行った。また、松尾っ子発表会前には、やまびこ通信を活用し、開催のお知らせを行い、地域の方々にも観覧していただくことができた。